

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU

NETWORK NASU

CHARTERED 1995



那須ワイズメンズク

2020~2021年度 No.257

5 月報

那須クラブ会長 主題

地域につなげ那須ワイズ



強調月間：EF
JEF

今月の聖句

あなたがたは皆、信仰により、キリスト・イエスに結ばれて神も子なのです。

ガラテヤの信徒への手紙3：26

5月第1例会（那須街道赤松美林植樹例会）

日時：5月22日（土）午前10時～

場所：那須街道赤松美林 午前10時までに那須街道赤松美林入口の駐車場に集合

内容：塩那森林管理署指定植林地（2019年秋に植樹した隣地）

雨天中止（前日に管理署の方と相談のうえ、決定）

コロナ対策として、検温を行います。

司会 田村 修也副会長

会長挨拶

会長 河野 順子

塩那森林管理署長挨拶

記念撮影

塩那森林管理署の誘導にて植林地に車で移動

塩那森林管理署の方による、苗木の植樹の仕方についての指導

各自にて、植樹

11時30分終了・解散

その後時間の許す方で、赤松美林の散策、遊歩道の清掃又は、那須疎水の見学。

2020~2021年度 主題

国際会長：(IP) Jacob Kristensen (デンマーク)

「価値観、エクステンション、リーダーシップ」

アジア太平洋地域会長：(AP) David Lua(台湾)

「変化をもたらそう」

東日本区理事：(RD) 板村 哲也(東京武蔵野多摩)

「変化をたのしもう！」

北東部長：南澤 一右(仙台青葉城)

「変化を楽しみながら新生北東部を創ろう！」

クラブ役員

会長：河野 順子

副会長：村田 榮・田村 修也

書記：藤生 強

会計：村田 榮・鈴木 保江

担当主事：藤生 強

ブリテン：田村 修也・村田 榮

4月例会データー（出席率：60%）

在籍者 6名（内 功労会員1名） 例会出席者 3名

5月 Happy Birthday

なし

・6月第2例会（役員会）

日時：6月4日（金）午前10時00分から

場所：田村メン宅又は、那須YMCA

・6月第1例会（墓沼用水地散策）

日時：6月19日（土）

内容：墓沼（ひきぬま）用水について学ぶ。詳細については後日連絡

雨天順延



巻 頭 言

とちぎYMCAと私

主事 平山 雄大

今年度7月より藤生強さんより替わり、那須ワイズ担当主事として働かせていただくことになりました。平山雄大（ひらやまたけひろ）と申します。2018年度にとちぎYMCAに入職し那須YMCA担当となり主事見習いからこの度、那須ワイズ担当主事となりました。

那須YMCA事業に携わるようになり4年目に入りました。私がYMCAと関わるようになったのは大学1年生の春でした。私は保育士・幼稚園教諭を目指していました。そんな中、友人から子どもたちとキャンプに行けるボランティアがあるから行って見ないかということで話を聞きに行き、楽しそうな話ばかりだったので友人たちと参加することを決めました。そして、キャンプの会議があるということで友人と共に行こうとしたところ友人たちにキャンプに参加しないと言われ、私1人が参加することになりました。そこから、毎シーズンキャンプに参加するようになっていきました。初めてのキャンプが終わった後は「もうキャンプには行かない！」と書いておりましたが冬のキャンプでは他のリーダーに誘われ参加し、少し楽しさを感じました。2年生以降は毎年、毎シーズンキャンプやデイプログラムに参加し、子どもたちや他県のリーダー、スタッフの方に名前をたくさん呼んで頂き嬉しかったことをよく覚えています。4年間を通して私はありのままの自分でいい、受け入れてくれるYMCAが大好きになりました。

大学卒業後は当初とちぎYMCAスタッフを秘かに希望していましたがご縁が無く母園に就職し、幼稚園教諭として4年間子どもたちと過ごしてきました。そして、2017年にリーダー時代にお世話になっていたディレクターからYMCAスタッフにならないかと誘われました。仕事にも慣れてきたところで転職すると考えると戸惑いもありましたが新しい場所でチャレンジしてみたいという思いから入職を決めました。中途採用ということで最初からプログラムを任せられ、那須のユース担当にもなり上手くいかないことが多くありました。その度にYMCAに関わる全ての人に助けられ、支えてもらい今日までとちぎYMCAでスタッフを続けることが出来ました。また、幼稚園教諭時代の経験も活動など子どもたちと関わる際には大いに生きておりリーダーから直ぐにスタッフにならず、回り道をして良かったなと今では思っています。

今後もとちぎYMCAに関わる全ての人にスタッフとして何が出来るか、担当主事となりワイズとYMCA・リーダーの架け橋となれるよう常に考えながら一日一日を過ごしていきたいと思えます。



那須聖園老人ホーム訪問（タオルの贈呈）2021.4.6

4月第1例会（那須聖園老人ホーム訪問）

報告者 会長 河野 順子

日時：4月6日（火）午後1時～

場所：那須聖園老人ホーム

参加者：河野、田村、村田の各メンバー。

4月の例会は「奉仕活動」の予定であり、コロナ禍でできる活動として以下の活動をした。

4月6日（火）11時20分に那須街道松林駐車場（この地は毎年植樹をするときの集合場所）で待ち合わせをし、那須街道をひた走りレストランに向かった。

「タラゴン2」という小洒落た店にたどり着いた。まさか、男女3人平均年齢77歳が入店するとは思えないような（先入観か？）雰囲気の中、ピザと紅茶でランチをした。芽吹き始めた周りの景色を見ながら5月例会の打ち合わせを行った。またひた走り、午後1時に「聖園（みその）那須老人ホーム」（那須町寺子丙 1498-2）に到着した。施設長と前施設長に迎えられ、奉仕の品、タオル300本余を寄贈した。「丁度、品薄になったので購入しなくてはならないと計画していたところでした。良かったです」と言って頂き安堵した次第だった。

高齢者には、なくてはならないタオル類は必需品であるという。多くの方にタオルに余裕があれば保管して頂き、次回もご寄付を願ってお届けしようと思った。

聖園那須老人ホーム：理念 「キリスト教的人間観に基づき展開」

名称： 社会福祉法人イースターヴィレッジ 聖園那須老人ホーム

創立： 1970年～2008年社会福祉法人聖心の布教姉妹会 2008年～社会福祉法人イースターヴィレッジが施設母体

運営母体： カトリックさいたま教区

定員： 50名

5月第2例会（役員会）報告

日時：5月6日（木）午前10時～

場所：田村副会長宅

出席者：河野会長、田村副会長、村田副会長、協議事項

1. 5月例会について

5月22日（土）午前10時に那須街道松林駐車場に集合。その後植樹場所に移動。コロナ対策として、植樹後のクラフトは取りやめとする。

参加者は、15名程度、ワイズで傷害保険に加入（田村副会長に依頼）。チラシを作成し、配布。

2. 塩谷キャンプ場について

塩谷町を訪問し、町長にあいさつ。町長の都合に

合わせて、とちぎYMCAの鷹箸理事長と那須ワイズで訪問する。時期としては、5月末。河野会長に一任。

3. 6月例会について

新緑の中を散策することで計画する。場所は、墓沼（ひきぬま）用水地。詳細については、6月の第2例会（役員会）にて決定。雨天は、順延。

4. 6月役員会（第2例会）について

6月4日（木）午前10時から、田村ワイズ宅又は、那須YMCAにて開催する。

5. シイタケ昆布の購入について

5月末に注文を行う。個数について、村田のところで5月20日ごろまでに調整をする。

旧西那須野（那須西原）の緑と水（第97回）

田村修也

那須開墾社は明治26年（1893）11月16日、予定よりも2か年早く解散することを内定いたしました。矢板 武社長が就任してから6年目でした。明治21年以降は、那須開墾社内にはそれぞれ独自の的方法による農場経営が行われるようになっていました。松方正義さんによる（松方農場）直営の大農法や矢板 武さんによる（矢板農場）小作制をとるものなどでした。このように結果的に土地の大型な所有者や大株主の分立が実現するようになったため、那須開墾社の運営の主体性は失われるようになっていきました。これに加えて、株式会社組織に関する商法の規定が公布されて、那須開墾社を会社としてこの商法に適合するようには、かなり複雑なものがあつたために解散の道を取るようになっていきました。【この商法（旧商法）は1890年4月26日に公布され、翌年1月1日施行されました。しかし、経済界の多くは従来の商習慣と異なるので、急速な施行に不安をいだいたため、その施行は第1回帝国議会（1890年11月29日）で、1893年の旧民法施行まで延期され、更に、第3回帝国議会で旧民法と共に延期され、1899年3月9日公布、6月16日に施行されました。】解散につきましては、その清算人として矢板武さん、斎藤半次郎さん、吉田市十郎さん、荘田平五郎さんの4名が選出されました。

那須開墾社解散の届出は明治26年12月28日に折田平内栃木県知事に提出されました。明けて明治27年1月7日は前社長印南文作さんの7回忌にあたるころから、常盤が丘の墓前で法要が営まれました。そして、1月31日まで社員も残務に従事

しましたが、この日をもって終了いたしました。明治27年3月27日、東京星が岡茶寮において株主総会が開催され、次のことが決議されました。

1、神社、仏閣、学校、村役場用地として2町3反を寄付すること

1、西那須野村教育基金として金1千円を寄付すること

1、凶荒予備原資金として金2千円を寄付すること
1、水路開鑿費三百円、水門構造費二百四十円を寄付すること

1、功労者に賞与すること、但しその額種目は清算人の評議によって決すること

1、有栖川宮御手植松記念碑を建立すること、そのため金百五十円を支出すること

1、西那須野村役場に農書を備えるため金五十三円を寄付すること

1、成業式を挙行すること、その費用二百五十円支出すること。

以上のほか、旧株主をもって永続の記念会を組織して、西那須野を見守ろうというものでありました。

成業式は、明治27年(1894)5月6日、烏が森丘上において挙行されました。佐藤栃木県知事、且方政義伯爵、佐々木高行伯等々の臨席を得て、移住者500余名の参加もあって極めて盛大に挙行されました。式は矢板 武社長の事業成績の報告、さらに、解散に際して西那須野村へ寄付する土地と金額が述べられ、諸報告が終わると、来賓各位の祝辞があり、矢板 武社長はこれに対して答辞を朗読して式は終了いたしました。

矢板 武さんは、御自身の著書「那須開墾誌」において、成業式、清算及び成業後の事務、本社事業関係の功労者へ賞与、開墾余事を記載しておりますので、連載を終了するにあたりまして記載しておきます。(以下次号へ)

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園
西那須野幼稚園

園長・理事長 福本 光男

今月ある写真雑誌が突然休刊になりました。昨年も一誌休刊でした。私は写真雑誌が好きで、学生の頃から良く購入していたこともあり、楽しみが一つ減った感じです。

一般的に写真は、時間と空間を切り取る作業です。様々な写真家の社会で直面しているテーマの作品によって、私は影響を受けてきました。教育はもちろん

ん、環境、平和、公害、災害、自然、宗教等。先月号は、東日本大震災から10年の特集が組まれました。テレビ番組の動画の映像ではなく、それぞれの現場に10年間通わないと見えてこない1コマ1コマが、私に実に多くのことを語りかけてくれます。そして、写真は記録としても大切な役割を果たしています。

今、幼児教育に於いても子ども達の成長記録に、写真や動画を取り入れる実践が行われています。「ドキュメンテーション」と呼ばれる手法で、ヨーロッパやニュージーランドなどのレジオ・エミリア・アプローチをしている施設が取り入れています。保育者が教育的な視点で、子どもの様子を写真で記録します。その写真付きの成長記録を保育者達が共有し、振り返り、次の保育に活かします。保護者は、子どもの成長過程が確認出来、成長の喜び感じることが出来ます。毎日親が送り迎えするこひつじ保育園で時々、写真を壁に貼ったりしています。

これは私見ですが、ドキュメンテーションという手法が、移民の多いヨーロッパで普及したのは、言葉の限界があり、それを補う為の共通語としての写真があったからと考えます。

また、子ども達の表情や取り組みの流れの中での成長をみる上でも、言語の限界を補足するドキュメンテーションという手法は、本園でも取り入れる試みや意義は大きいでしょう。まずは、スタッフで学んでいきたいと考えます。

最後に写真屋さんに「ほめ写」というパンフレットがありました。子どもの写真を飾ることで子どもの自己肯定感が高まるというもので、篠原菊紀(公立諏訪東京理科大学教授)、岩立京子(東京学芸大学教授)の調査研究結果に基づくものです。皆さんのスマートホンには沢山のお宝映像があると思います。家でのお手伝いや何かに挑戦している姿は親にしか撮れない写真です。是非プリントとして飾ったり、アルバムに整理され、一緒に見て共有し、コミュニケーションの機会を増やしていただけたらと思います。

アジア学院だより

学校法人 アジア学院

アジア農村指導者養成専門学校
校長 荒川 朋子

ネパールの卒業生

コロナ禍はインドで猛威をふるう変異株の広がり
で新たな局面に入った。この現実を実感したのは今

月10日に届いたネパールの卒業生Tさんの訃報だった。この変異種はインドの隣国ネパール、パキスタンでも急激に広がり始めている。つい数週間前に笑顔でビデオレターを送ってくれたこの卒業生Tさん(52歳、女性)は、コロナの発症からわずか10日間であつという間に亡くなってしまった。

Tさんはアジア学院で同期で共に学んだ日本人の卒業生Mさんと結婚し、以後2人で彼女の実家のあるネパールの山間地域で家族や親戚と共に、つつましくもその地にしっかりと根をはり、自然に生かされ「豊かに」暮らしていた。夫であるMさんは、その暮らしぶりや、そこから見える地域の様子、ネパールの変化、世界の影響などを文章にし、日本にいる友人や支援者に定期的に送っていた。私は彼から送られてくるそのネパールからの便りを毎回楽しみにしているファンの一りで、先日送られてきた便りがTさんの訃報だったのだ。

発症してから亡くなるまでのTさんの様子や夫婦のやりとりが、いつものMさんのおだやかな文体で綴られていた。文章にはMさんのTさんへの愛があふれていて、読み終わった後は涙が止まらなかった。

アメリカでコロナで亡くなった家族をもつ遺族のカウンセリングをしているあるカウンセラーから、コロナ禍ではあまりにも死が早く訪れるため、また感染予防のために家族が看病で付き添うことができないために、遺族の悲しみは一層深いとういことを聞いていた。Mさんは奥さんのTさんの最期に寄り添うことはできたが、だからと言ってそれで悲しみの深さが変わるようにも思えなかった。病院にはいたものの、他の患者と隔離されていただけで治療は何一つ施されなかった。同じような状況でどれだけの人が今最期を迎えているのか、ようやく想像することができるようになった。

以下は別のネパールの卒業生からのメールである。この卒業生はヒマラヤの麓の小さな村にいる牧師である。

過去に旅して見てきた美しい山々の景色が頭をよぎっては消えています。山を旅する幸せな日々がまた戻ることを願っています。

今ネパールはどこも封鎖されています。ハリケーンや雹が襲い、コロナの感染者はうなぎのぼりで、患者は次々に亡くなっています。失業者が増え、飢餓がはびこり、世界の人口も減るでしょう。私は詩編91編を思い出しています。今多くの人が神に立ち返っていると思います。祈って、聖書を読んで、神との時間を過ごしていると思います。サタンと対峙し、霊的なつまづき、精神的挫折、世の墮落と闘っ

ています。しかし、たとえ政治的、社会的、経済的、道徳的な退廃が世界中にはびころうとも、サタンが勝つことはありません。マタイ24:14にある神のご意志が成就されるからです。(そしてこの御国の福音は、すべての民に対して証をするために、全世界に宣べ伝えられるであろう。そしてそれから最後が来るのである。)だから私たちは賢く準備して待っていなければなりません。神のご計画はコロナで止むことはありません。コロナはこの世に来る以前に詩編91編はありました。たった一羽のすずめすら神のご意志になしには地に落ちることはないのです。今世界は偉大な教訓を学んでいます。

薬も医療サービスもない地域に住む彼の言葉に真実を見た思いでした。

YMCAだより

【新年度のご挨拶】

日ごろよりYMCAの諸活動にご理解、ご協力を頂き感謝申し上げます。新年度(2021年度)がスタートしました。2021年度那須YMCAに関わるスタッフの紹介をさせていただきます。

那須YMCA全般:平山 雄大(ひらやま たけひろ・のりしおリーダー)

※ワイズ担当主事

※地域活動、西那須野幼稚園委託事業(運動遊び・サタデークラブ)、児童野外活動、ユース活動など
英会話教室:小野寺 温代(おのでら あつよ・でらっちリーダー)平山 雄大

英会話教室補助・事務:村上 尚子(むらかみ なおこ)

英会話講師:Alex Warren (アレックス)

英会話講師:Henry Tsue (ヘンリー)

英会話講師:Charlotte Jane (シャーロット)

スマイリークラブ:藤生 強(ふじょう つよし)

今年度も引き続きどうぞよろしくお願ひ申し上げます。
那須YMCA 担当スタッフ一同

【とちぎYMCA・那須YMCAの5月の予定】

- ・5/8 (日) サタデークラブ@西那須野幼稚園
- ・5/9 (日) Yキッズ@みかも山公園
- ・5/13 (木) YMCAイングリッシュ那須 幼児クラス体験レッスン
- ・5/14 (金) YMCAイングリッシュ那須 幼児クラス体験レッスン
- ・5/15 (土) サタデークラブ@西那須野幼稚園

- ・ 5/22 (土) サタデークラブ@八幡山公園
 - ・ 5/29 (土) サタデークラブ@八幡山公園
 - ・ 5/23 (日) ・ 5/30 (日) とちぎYMCA
- リーダートレーニング①@宇都宮YMCA

ユースリーダーのつぶやき

1. 名前 (リーダー名) 2. 学校名 3. 出身地 4. YMCA
 に入ったきっかけは? 5. 思い出に残った活動とその理由は? 6. 今後の進路は? 7. YMCAに一言

今月はお休みです。

2021年度

那須ワイズ5月植樹例会のご案内

2011年3月11日の東日本大震災から10年目を迎えました。風化させない、忘れないで、更なる復興を祈り続けましょう。コロナウイルスが猛威を振るっていますが、防災のため地球温暖化防止対策のために植林が進めましょう。

あなたの手で 緑を育てませんか

恒例の植樹例会を下記により実施いたしますので、お問い合わせの上ご出席下さるようご案内いたします。小雨決行ですが、晴天になるように今からお祈り下さい。

1. 月日 2021年5月22日(土曜日) 現地集合 (那須街道赤松林入口の駐車場に午前10時までにお集り下さい)
2. 行先 那須街道「赤松美林」 塩那森林管理署指定植林地
3. 内容 植樹等と歩道清掃
4. 行程予定

| タイムスケジュール | 内 容 |
|-----------|----------------------|
| 10:00 | 「那須街道赤松美林」着 |
| 10:30 | 赤松苗木の植え付け等 |
| 11:30 | 赤松美林周辺散策と歩道清掃 (自由参加) |
| 12:00 | 現地解散 |

5. 費用 必要なものは各自負担
6. 装備 個人装備: 雨具、手袋(軍手)、タオルなど
7. お弁当、必要があれば近くのコンビニで (昼食は各自自由とします)
8. その他 必要と思うもの
9. 参加者は全員保険加入をいたします
10. 塩那森林管理署のスタッフの皆様には今回も大変お世話になります。苗木・唐鍬等用具は森林管理署で準備して下さい。

※那須ワイズメンズクラブ会長河野順子 担当田村修也 ※全員保険に加入いたしますので、ご参加の方は田村 (090-5545-6763) 宛、5月15日 (土) までにご連絡お願いいたします。